

三条教区通信

第 39 号

発行日 2010年9月1日
発行者 三条教務所長 藤坂 初裕
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町 2-1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
URL: <http://www.gobosama.net>

★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

弥陀の願力は
生死大海の
おおきなるふね
いかだなり

【尊号真像銘文】

研修会等ご案内

■ 声明基本講習会 開催案内既送

- ◆ 日時 2010年9月17日(金)
- ◆ 会場 三条教区同朋会館
- ◆ 内容 得度受式者向けの講習
同朋唱和勤行集を中心とした講習
- ◆ 指導員 声明講習会部門スタッフ
- ◆ 受講料 500円
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻)まで。
〔主催:「声明講習会」部門〕

■ 教区女性研修会 開催案内同封

- ◆ 日時 2010年10月5日(火)
- ◆ 会場 教区同朋会館
- ◆ 講師 古田 和弘 氏(大谷大学名誉教授)
- ◆ テーマ 「御遠忌を迎えるところ
～宗祖としての親鸞聖人に会う」
- ◆ 対象 教区内有縁の方
- ◆ 公演料 1,500円
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:史陀)まで。

〔主催:「女性研修会」部門〕

■ 教区推進員研修会 開催案内同封

- ◆ 日程 10月7日(木)午前10時～午後4時
- ◆ 会場 三条別院・教区同朋会館
(三条市本町 2-1-57 FAX0256-33-2805)
- ◆ 講師 青木 新門 氏(作家)※映画『おくりびと』の原点となった『納棺夫日記』著者
- ◆ 講題 「いのちのバトンタッチ」—映画「おくりびと」に寄せて
- ◆ 会費 1,500円(昼食代含む)
※詳細は同封案内状をご覧ください。

■ 秋季声明講習会 開催案内同封

- ◆ 日時 2010年10月20日(水)
- ◆ 会場 三条教区同朋会館
- ◆ 内容 御遠忌に向けての講義と講習
- ◆ 講師 藤沢 善夫 氏(本山堂衆)
- ◆ 受講料 500円
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻)まで。
〔主催:「声明講習会」部門〕

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

本山御遠忌法要について

これからのタイムスケジュールは実施計画書『御遠忌参拝案内』により、下記の流れとなっております。

- ① 2010年9月10日頃引率責任者に本山から「確認書」を送付。参拝席抽選があり、11月30日頃指定席券と座席表が本山から教務所へ送付。
- ② 教区で調整。
- ③ 2011年1月頃には、確定一覧が教務所に、「確定書」「手引き」「しおり」「運行計画表」が引率責任者に、本山から送付予定。

2011年	
第一期法要	3月19日～3月28日
第二期法要	4月19日～4月28日
第三期法要	5月19日～5月28日
御正当報恩講	11月21日～11月28日

教区御遠忌お待ち受け法要の予定

各種案内既送

- ①期間 2010年11月5日(金)～8日(月)
 ②場所 三条別院
 ③形態 教区お待ち受け法要兼三条別院報恩講
 ④帰敬式 11月6日(土)日中後鍵役により執行
 11月7日(日)日中後鍵役により執行
 11月8日(月)午後門首により執行
 ⑤日程概要(予定)

日	午前	午後
5	田んぼアート採納式 坊守会採納式 11:00 音楽法要	12:00 おとき 13:00 講話 田口ランディ氏 14:00 初逮夜 15:00 御伝鈔 (上巻) 16:00 終了
6	07:00 初晨朝 07:45 法話 (約30分) 10:00 初日中 日中後、帰敬式	12:00 おとき 13:00 法話 武田定光氏 14:00 中逮夜 (御参修) 15:20 御伝鈔 (下巻) 16:00 終了
7	07:00 中晨朝 07:45 法話 (約30分) 10:00 中日中 日中後、帰敬式	12:00 おとき 13:00 法話 真城義麿氏 14:00 結願逮夜 御俗姓 15:20 文弥人形 16:00 終了 18:30 記念懇親会
8	07:00 結願晨朝 07:55 法話 (約30分) 10:00 結願日中 (御親修)	12:00 おとき 13:00 帰敬式準備 整列開始 13:30 帰敬式 (門首執行) 14:30 記念講演 小川一乗氏 16:00 終了

- ◎出仕について: 役職者はもちろん、全寺院の御出仕をお願いいたします。締め切り10月15日。
 ◎帰敬式受式について: 手次寺院の御住職を通して、各組に申込書を御提出いただき、原則として各組の団体参拝に御参加くださるよう御配慮をお願いいたします。各組長締め切り9月25日。
 ◎参拝について: 近隣の15組を除き団体参拝を原則とし、おとき・帰敬式と共に、各組ごとに募集いたします。各組長締め切り10月15日。

◎記念懇親会について: 門首をお迎えし、11月7日午後6時40分から燕ワシントンホテルにて記念懇親会を開催いたします。記念懇親会はお盆過ぎにご案内いたします。締め切り10月15日。

組 御遠忌お待ち受け法要(大会)について

【開催予定期日】

2010年	
第12組お待ち受け法要	
期 日:	2010年10月24日(日)
記念法話:	安原晃氏

御遠忌讃仰事業の予定

本山の御遠忌讃仰期間中の2011年3月31日に、教区の日として本山で田んぼアート採納式や展示企画等を開催いたします。

◎教務所別院主催御遠忌団参について

明年3月に出発する教務所別院主催の御遠忌団参について、人数が少ないため、募集期間を延長してさらに募集することになりました。人数は第1班・第2班とも40名ですので、ご参加をお待ちいたしております。

第1班

旅行日: 2011年3月20日(日)～3月22日(火)

■所要経費: お一人 57,000円(宴会費込)

■募集人数: 40名(満員になり次第、締切らせて戴きます。)

■バス乗降箇所: (新潟駅南口・三条教務所・長岡I.C・柏崎IC)

第2班

旅行日: 2011年3月21日(月)～3月23日(水)

■所要経費: お一人 55,000円(宴会費込)

■募集人数: 40名(満員になり次第、締切らせて戴きます。)

■バス乗降箇所: (新潟駅南口・三条教務所・長岡I.C・柏崎IC)

※お申し込みは教務所まで御連絡ください。

教化委員会からのお知らせ

三条教区教化研修テーマについて

教化委員会企画委員会において、これまでの教区教化研修テーマ「共にといえる 人生を生きよう」について、教化委員会任期満了までの間、継続する運びとなりました。

教区教化委員会を中心に、このテーマについて考察を重ねて、次の教化委員会へ引き継ぐべく、【「共にといえる、人生を生きよう」に憶う】と題して、順番に

執筆、毎月『教区通信』に掲載いたします。

第23回目は、社会広報部会委員の多田修氏(第20組照覺寺)です。

「共にといえる、人生を生きよう」に憶う

第20組 照覺寺 多田 修

お盆が終わった。それ以前に、20組のお待ち受け大会が終わった。お盆までの、自分で勝手に決めていた休養期間が終わった。それほどまでに、入れ込むことができた「お待ち受け」だった。

久しぶりに自分でも頑張ったなァと思う。開催日まで身がもつだろうか?等と自分でも危機感を覚えることもちょっとあったりして。

当てられた仕事の割に大きいこと言うね・なんて突っ込まれそうですが、学園祭以来の熱中ぶりでした。結果、五木寛之氏のおかげもあり参加者約1400名という、聞いたことのない数を残して「お待ち受け」が終わり、「20組もなかなかやるものだ」と言われ、組内では互いに御苦労さん・お疲れさんで終わり。残ったのは、少しの達成感と大きな虚脱感。

これでおしまい?

いえいえ今度は、別院の「お待ち受け」そのあと本番・本山の御遠忌大法要が控えていますって。

これからどんどん盛り上げていかねば!

ここで更に張切らねば!!ここで動かずにいつ動く?ここで動かなかつたら、=詐欺師=の烙印さえ押されかねない。更に真宗人の自覚も問われてきている。

「盛り上がり欠ける」などと、愚痴っているひまがあったら、自ら盛り上げることを考え、行動せねば。まだまだ楽しめませ!!

御遠忌の後も、きつとやるべきことが沢山出てくるだろうね。どれだけ楽しめられることやら。

※次回は研修部会委員の山代英世氏(第21組浄泉寺)よりご執筆いただきます。

「夏期子ども会巡回」

8月17日から22日までの期間、10組祐光寺(内郷4ヶ寺)、10組北条西方寺、13組願性寺、深沢保育園、新通保育園、竹野町保育園の計6会場で当部門が主催しております、子ども会の巡回を開催しました。

今年は、「勝ったら一歩ゲーム」や「漁師ゲーム」などのオリジナルゲームを行い、最後に毎年恒例の大型紙芝居を行いました。仏さまがご縁となり、各会場多くの子どもたちが集まり、未来につながる良い機会になったのではないかと感じます。

また、今年度は新しい大型紙芝居を作成する予定です。夏の巡回だけではなく、一年を通して巡回をし

ておりますので、ぜひ児童教化のお手伝いをさせていただきます。



※写真は、10組祐光寺にて。

教務所からのお知らせ

◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。

(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・北島まで)

ラジオ放送「東本願寺の時間」

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師

★8/29～10/9 埴山 法雄 氏(高岡教区)

★10/10～11/20 小川一乗 氏(北海道教区)

○放送局 新潟放送(BSN)

*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂 様

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んで

きている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」

(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これまで放送された番組をお聴きいただくことができます。

是非、ご聴取ください。

◎中国甘肅省土石流災害への対応について

2010年8月8日未明、中国甘肅省・甘南チベット族自治州舟曲県で発生した土石流災害で、甚大な被害が生じていることを受け、宗派では被災地への復興支援として50万円の救援金の給付を決定しました。また、災害救援金口座の開設と、御影堂・阿弥陀堂を始めとした山内及び大谷祖廟事務所に救援金箱を設置し、救援募金の協力を呼びかけています。併せて、より効果的な救援金の勧募を行うため、下記の災害救援金口座及び救援金箱の設置期間を、2010年10月7日まで(災害発生から2ヵ月間)とし設置させていただきます。救援金の勧募について教区内に広く周知いただきたく、よろしく願い申し上げます。

記

本山(宗務所) 窓口

□郵便振替口座番号：01030-4-2244

□加入者：真宗大谷派宗務所 財務部(救援金)

(注意) 振込用紙の通信欄に「中国甘肅省土石流災害 災害救援金」と明記くださるようお願いいたします。

◎教区他 主な行事予定一覧(8月23日現在)

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等を避けるうえで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日程は諸事情により変更される場合があります。



日 時	行事内容
2010年	
9月	
9/2 14:00	10組教化委員会

9/3 16:00	お待ち受け法要部会 16組組会 11組教化委員会 17組教化委員会
9/4 14:00	真宗学院 14組教化委員会
9/5	13組門徒会
9/6 19:00	15組推進員養成講座反省会 24組組会・教化委員会
9/7	谷大同窓会支部総会
9/8	16組出退作法講習会 12組組会
9/9 14:00	センター 学院指導会議
9/10	20組組会
9/11 14:00	真宗学院 長岡公開講座
9/12	10組組会
9/13	21組組会・教化委員会 15組教化委員会
9/14 13:00	12組若手立華講習 15組有縁の会 11組組会 佐渡組教化委員会
9/15	19組組会 18組教化委員会 22組教化委員会
9/16	センター お待ち受け教化部会
9/17	声明基本講習会
9/18 14:00	真宗学院 14組組会
9/21	13組組会
9/24	～26日 別院彼岸会・朝の人生講座 24日オペラ、25日ライトアップなど
9/27	18組組会・組門徒会
9/28	17組組会
9/29 13:00	16組坊守学習会 23組組会
9/30 14:00 15:00	児連会議 教区推進員後期教習反省研修会 15組組会
10月以降の予定	
10/1	～3日 10組推養後期教習上山 15組女性研修 17組門徒会
10/2 13:00 14:00	佐渡組組会 仏教文化講演会 真宗学院 茶会事前準備会場使用
10/3	宗徧流茶会
10/4	22組組会 20組組門徒会
10/5	教区女性研修会

	15組推進員養成講座
10/7	教区推連協研修会
10/8	10組組門徒会
10/9 14:00	真宗学院
10/13	15組有縁会
10/15 14:00 16:00	若手寺族研修スタッフ会議 同朋の会教導連絡協議会総会
10/16 14:00	真宗学院
10/20 09:30	秋季声明講習会
10/21 15:00 17:00	出退作法講習会 掛役習礼
10/23 14:00	真宗学院
10/24	12組お待ち受け法要
10/30 14:00	真宗学院
11/5	～8日教区お待ち受け法要兼三条別院報恩講
11/6 14:00	真宗学院報恩講参拝
11/9	～11日部落解放全国研究集会(於:朱鷺メッセ)
11/13 14:00	真宗学院
11/20 14:00	真宗学院
11/21	～28日本山報恩講
11/27 14:00	真宗学院
11/29	15組有縁会
11/30	正副組長・組奨励員・同朋の会教導任期満了
12/3	～5日15組推進員養成講座後期上山
12/4 14:00	真宗学院
12/7	～8日秋安居
12/9 13:00	16組坊守学習会
12/11 14:00	真宗学院
12/18 14:00	真宗学院
12/23	選出教区会議員・教区監事(参事会選出)任期満了
2011年	
2/26	～27日真宗学院一泊研修
3/5	～6日15組推進員養成講座(別院)
3/19	～3/28本山御遠忌第一期法要
3/29	～4/18本山御遠忌御遠忌讃仰
3/31	御遠忌讃仰三条教区の日(本山) 御依頼適正審議会委員・「差別と真宗」協議会員任期満了
4/1	～3日本山春の法要
4/4	声明基本講習会
4/19	～4/28本山御遠忌第二期法要
4/29	～5/18本山御遠忌御遠忌讃仰
5/19	～5/28本山御遠忌第三期法要
6/30	教区教化委員・教区坊守会役員・教区御遠忌委員(所長選定)任期満了
9/30	査察委員任期満了
11/5	～8日三条別院報恩講
11/21	～28日本山御正當報恩講
2012年 同朋会運動50周年	

3/31	教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了
4/30	参議会議員任期満了

駐在教導のつぶやき ～北島の篇～

みなさんもお存知のとおり、この8月、本山御遠忌の前に源書記が移動となった。死んでしまったわけではないが、知らせを聞いたとき、「何で今？」という動揺と共に、公私共に長い付き合いであったゆえに、非常に辛いものがあった。仕事の引き継ぎをしていると、まさに戦友という言葉があう間柄であった事を確認した。

この先どうなるのであろうか？正直、不安増大である。そんなさ中、ある言葉を耳にした。

「この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ。」

これは、ご存知プロレスラー、アントニオ猪木が、1998年4月4日。引退試合後の挨拶で、ファンに対する最後のメッセージとして朗読したものである。調べると一休和尚の言葉であるとか？

「一足を出せ」強い言葉である。

確かに戦力ダウンは否めない。が、進むしかないのである。そんな事を感じ、ますますの意欲と責任感を持って進む決心をさせられた8月であった。

やっぱり、アントンはただ者ではない。アントンにまたしてもやられた。スゴ過ぎる!!・・・って、そっちかい？※説明は要らないと思うが、ノリ突込みである。かしこ。

所員のささやき ～番外篇～

7月30日付。異動の辞令を受けて大谷祖廟事務所書記となったが、有難い事に「ささやき番外編」を書かせていただけたとの事なので、源の思い出話も含めた最後のささやきです。

三条の夜を大音響の花火が照らしていた。無言で見上げた。環境が変わったことを再認識しながら「そっかそっかぁ・・。エラい遠いとこまで来たねえ・・」と、綺麗な花火はちょっとだけ不安な気分も煽った。初めて三条に来た日。2003年8月1日の事だ。

色んな経験や試練を与えながら、「三条」は僕を育ててくれた。パソコンも使えず「わーど・・えくせる・・ハッ何それ？」てな感じだった着任当時の僕は、書類一つ作れないような状態で、とあるご当院が遅くまで

(23時近くやったような)付き合ってくださいって発行物を作ったこともあった。「何かすみません」と言う僕に、なぜか爆笑しながらご当院がおごってくれた親子井は特に美味くは無かったが、嬉しかった。「気張らないけんなあ」と思ったのを覚えている。あの味は今も、この先も一生忘れない。そのご当院も今はご住職だ。数え切れないくらいたくさんの方々と酒も飲んだし、言い合いもした。色んな方々にご迷惑をかけながら、相当厳しい叱咤の声と、相当温かい激励との両方をいただきながら、思えば常にお育ての中での7年だった。

今回、異動の内示が来たとき。「今」がいつまでも続くような気になっていたし、今まで関係を作らせてもらった仲間達と御遠忌を迎えると思っていた。おかしい言い方をすれば油断していた。そんな中で、と・こ・ろ・が。の異動。内示を受けて誰にも言えない状況の中で一人、ちょびっとナーバスな気分になった事もついでに告白しておく。

この7年間。自分にとっての宗祖御遠忌を意識し出してから特に、少なくとも深い関係を結ばせていただいた皆さんとは、思いを共有しながら歩ませていただいたと思っている。ただ、一緒にやってきた事を中途半端にケツまくって置いていくような気もしている。今の気持ちを言えば、共に歩ませていただいた皆さんや、後任に対して申し訳ない思いもテコ盛りだし、思いだけでも一緒に背負って行こうという気持ちとか、全部がゴチャ混ぜな感じだ。

この原稿を書いている今。8月もあと数日。もうすぐ御遠忌まで200日を切りつつ、こども達も夏休みが終わる。「時間あるし。まだいける！」とか思ったら明日から学校。宿題は残ってる。こどもの頃からそんなことを繰り返してきたような気がする。今回のことも同じ。こんな気分をこれからも繰り返しながら生きていくのかもしれない。

僕が「三条」という時、想う時。何が「三条」か。改めて考えると、それは「人」と「繋がり」だ。様々な繋がりを結ばせていただいたが、僕にとってのその繋がりは、やっぱり「真宗」が縁になっていて、これが無かったら大好きになった三条にも来れなかったし、大好きな皆さんとも出遇えなかった。

この繋がりを「宗門」というのだと今改めて思う。宗会や宗務所が宗門ではない。教務所、別院が宗門なのでもない。先の全部と寺院も僧侶・門徒一人ひとりと「わたし」。「わたし」を育てたもの。組織機構をではなく、本当は他人事でないその「人」と「繋がり」をこそ「宗門」と言うのだろう。「三条」はそれを教えてくれた。

奇しくも2010年8月1日。辞令伝達を受けるために京都へ向けて走り出した左側に連続して花火が上がる。花火は「おし！ 気張って行ってこんかい！」と送り出してくれているように感じた。

ささやきの最後になるが、この「三条」で僕と繋がりを結んでくださった全ての方々に対して、直接ご挨拶

できなかった方々には非礼をお詫びしつつ、ささやきでなく、伏して、大声で御礼を申しあげたい。メッチャ淋しいし、悲しい思いもある。でも、何処にいようが教えと共に在る時、この繋がりは消える事が無いので、別に離れても関係ないです。僕は「三条」で戴いた繋がり全部を背負いながら大谷祖廟で気張ぼうと思えます。引き続き宜しくお願いします。見かけたら必ずお声掛けください。今後ともお世話になります。本当にありがとうございます。

転任ご挨拶

謹啓 涼風の候 三条教区内の御寺族、御門徒をはじめとする御同行の皆様方には、益々御清祥の事と拝察申しあげ大慶に存じます。

今般 私儀

大谷祖廟事務所書記を命ぜられ、去る7月30日付、着任いたしました。

顧みますと、2003年8月1日に初任地として、御縁を頂戴して以来、右も左もわからなかった私は、この三条教区において、当に一からのお育てをいただきました。

また、その間、当教区は、7.13水害、新潟県中越地震、新潟県中越沖地震と、度重なる大災害に見舞われました。その中にあっても、未だ完全な復興に至らぬまでも、大災害の中から立ち上がる越後・佐渡の御門徒の底力を、その相を以ってお示しくさせていただきました。ご迷惑をおかけし、多くの叱咤をいただきながら、私が七年間という長い間、精進する事が出来たのも、親身に関係を結んでくださった、多くの御同行の皆様方の御厚誼と御温情の賜ものと厚く御礼申しあげる次第でございます。

本来なれば、お育てを賜った皆様方お一人おひとりに一々拝眉の上、御挨拶申しあげるべきでございますが、取り敢えず、誠に失礼ながら粗書を以って御挨拶申し上げますとともに、三条教区の御同行の皆様の益々の発展と、仏法興隆を衷心より念じあげ、転任のご挨拶とさせていただきます。

今後とも引き続き、変わらぬ御指導御鞭撻と、お付き合いの程、お願い申し上げます。

敬白
源 了恵

2010年9月1日

